自然環境

21 世紀の国際的野生生物保護 **NPO 法人格取得記念公開シンポジウム** 野生生物保全論研究会（JWCS）編 2001 年 52 頁 800 円	大盛況のうちに終了したシンポジウムの内容を報告書にまとめました。講演者に、当日の内容にさらに加筆していただき、図版も収録。海外からのメッセージや質疑応答なども掲載しています。＜講演内容＞「国際的野生生物保護に関わって 30 年－その光と影」小原秀雄　「インドの野生生物保護－アジアゾウ・トラ・インドサイを救う」ビベック・メノン　「アフリカ・コンゴの熱帯林とゾウの生態・保護」 西原智昭
SETAGAYA KEY BIRD50 **ミニ野鳥図鑑　秋冬編** せたがやトラスト協会編 1991 年 20 頁 60 円（G）	身近な野鳥を観察する小冊子として、初心者にもわかりやすい絵で気軽に扱えるミニ図鑑。秋冬編の巻末には、多摩川の野鳥も付き、世田谷の環境に結びついた形で編集。
SETAGAYA KEY BIRD50 **ミニ野鳥図鑑　春夏編** せたがやトラスト協会編 1995 年 20 頁 60 円（G）	身近な野鳥を観察する小冊子として、初心者にもわかりやすい絵で気軽に扱えるミニ図鑑。春夏編の巻末にはツバメ調査票も付き、世田谷の環境に結びついた形で編集。
イルカガイド入門 Bible of the PACI ジャック・T・モイヤー著／国際海洋自然観察員協会（PACI）　2000 年 181 頁 2,000 円（G）	伊豆諸島三宅島、御蔵島をフィールドに展開するインタープリター（自然のガイド）の本格的な教則本。若者の自然を愛する気持ち、心温まる教育理念に感動し、環境教育の先見性を学べる貴重な一冊。
イルカの棲む島 **御蔵島のイルカたち** 御蔵島バンドウイルカ研究会編／アイサーチ・ジャパン（国際イルカ・クジラ教育リサーチセンター） 1999 年 97 頁 700 円（G）	昔から人とイルカが自然に共存してきた御蔵島の海にイルカたちがいつまでも棲み続けられるようにとの願いを込めて1994 年からボランティアによる生態調査を開始しました。イルカがどのような生活をしているのか知ってもらいたい・・・この本が御蔵島を、御蔵島のイルカをより深く知ってもらえるための一冊になってくれることを願っています。
エコロードブック **生き物と共生する道路づくり海外事例集** 道路緑化保全協会編 1999 年 124 頁 3,500 円	平成 6～8年にかけて、当協会が、カナダ、イギリス、スイスに派遣した「海外エコロード事例調査」の成果を取りまとめた自然環境保護事例集
遠州灘海岸絵巻 サンクチュアリジャパン編・村松　昭作画／ サンクチュアリジャパン 1999 年　アコーディオン形式 3ｍ 1,300 円（G）	絶滅危惧種であるアカウミガメたちの故郷・遠州灘海岸は私達のレクリエーションや渡り鳥・海浜植物・小動物たちを育む貴重な自然環境です。この全長115km の遠州灘を3m の絵図としてコンパクトにまとめながらもその魅力・情報は余すとこなくご紹介しています。この海岸にやって来るアカウミガメたちの視点から描かれた絵巻は、私達の身近な自然の美しさを再認識する際に良いお供になれば幸です。
海域・海岸線における環境保全・創造計画立案の指針 大阪湾研究センター海域環境研究委員会編／ 大阪湾沿岸域環境創造研究センター 2002 年 82 頁 1,500 円	海域・海岸線は、沿岸陸域の人間にとって極めて重要な環境財であるが、自然との共生を無視した様々な開発と利活用が行われ、自然環境を破壊し続け、各地域において、生物多様性の喪失、自然浄化機能の劣化をはじめ、様々な環境問題を発生させた。地球上における生きとし生けるものの一員として私たち人間が存在することを自覚し、生物・生態系にとっても人間にとっても望ましい海域・海岸線環境の保全・創造を図る必要がある。

かまくら・山崎　谷戸と暮らし　改訂版

山崎の谷戸を愛する会編
2003 年　68 頁　1,000 円

山崎（神奈川県）の谷戸で耕作されていた元の地主さんを中心に、山崎の方々に聞き取り調査を行い、昭和初期から戦後頃までの谷戸での農作業や山仕事、昔の暮らし、古式ゆかしい年中行事をまとめ、カラーグラビア、写真、図版を入れて記録した。昔ながらの作業で谷戸保全を進めるうえで貴重な教科書と成りえ、他地域での活用も大いに期待できる。

荒廃水田を活用した生物多様性の保全

新井　裕著／むさしの里山研究会
2001 年　54 頁　300 円

寄居町（埼玉県）に作った2つの水田ビオトープについての調査報告と、筆者によるビオトープについてのコメントを記しています。

里山のトンボ
Dragonflies of Four Seasons

加納一信他著／むさしの里山研究会
1999 年　87 頁　2,800 円（G）

17 名のトンボ愛好家が撮影したトンボ写真集です。絶滅に瀕しているトンボについての解説ページもあります。第 3 回自費出版文化賞を受賞しました。

市民による諫早干拓「時のアセス」

諫早干潟緊急救済東京事務所他編／
諫早干潟緊急救済東京事務所
2001 年　96 頁　953 円（G）

2001 年に行われた農水省による諫早湾干拓の事業再評価に先立ち、諫早干潟緊急救済東京事務所が研究者の協力を得て独自におこなった、市民の立場からの事業再評価の報告書。事業の費用対効果が国営干拓事業としての要件を満たしておらず、有明海などの環境への影響が非常に大きいなどの、諫早湾干拓の問題点を指摘し、農水省の第三者委員会における「事業見直し」の結論にも影響を与えた。

白神山地入山心得八箇条
白神ハンドブック

永井雄人著／白神山地を守る会
2001 年　22 頁　315 円

白神山地の特徴、コースがわかりやすく書かれている。この一冊があれば、入山コースの検討が簡単である。

白神ブナの森博物誌
エコロジーマニュアル

白神山地を守る会編
2000 年　80 頁　1,000 円

白神山地はなぜ守られたのか、青秋林道の歴史が風化する中で今、世界遺産の真実を書き残した一冊。

森林の手入れ基礎知識

日本緑化センター編
2001 年　64 頁　477 円

森林の手入れの大切さを理解して、森林づくりに参加し、あわせて森林の幸にも親しもうとする人たちの活動の一助として作成。

図説屋久島

屋久島環境文化財団編
1996 年　67 頁　屋久島ファンクラブ入会者に贈呈（年会費 2000 円）

屋久島の「環境文化」を語るうえでキーワードとなる事例を選び、図版と写真を多用して、多面的にわかりやすく解説したものです。（A4 版）

世界に広がるホエールウォッチング
WHALE WATCHING WORLDWIDE

Erich Hoyt 著／国際海洋自然観察員協会（IFAW）
2002 年　328 頁　2,500 円（G）

世界のイルカ・クジラウォッチングのマーケット動向、社会的効果、経済効果、そして教育的効果など網羅した専門書。前半部が英語による原文、後半部が邦訳版。

世田谷国分寺崖線散策マップ

せたがやトラスト協会編
2000 年　ケース入り420×891mm　500 円（G）

東京都世田谷区内の国分寺崖線のありとあらゆる情報を盛りこんだ初めての完全版イラストマップ。

東京湾　三番瀬 **海を歩く** 小埜尾精一、三番瀬フォーラム編著／三番瀬フォーラム 1955 年　237 頁　2,136 円	三番瀬問題の入門書として、三番瀬の環境情報、生物情報、水産物の調理法と多彩の内容を網羅し、写真やイラスト、データも多くわかりやすく紹介しています。また、三番瀬の保全再生の方向性も示唆しています。
道路と環境 Roads and Environment (A Handbook) 道路緑化保全協会編 1998 年　200 頁　2,000 円	道路の計画から建設、管理に至る全ての段階においての環境アセスメントの実践的な例を紹介した、世界銀行発行の「Roads and the Environment」の日本語版。
道路の樹木 道路緑化保全協会編 1997 年　370 頁　6,500 円	道路緑化によく用いられる主要樹木など300 種について特性、利用、管理を写真を用いて解りやすく解説。
道路ビオトープ入門 道路緑化保全協会編 1998 年　72 頁　2,000 円	道路の現場の計画・設計・施工の技術者向けの入門書であり、道路のビオトープの高度な技術を初心者にも解りやすく解説。
トトロブックレット 2 **都市近郊の里山の保全** トトロのふるさと財団編 2001 年　120 頁　800 円　(G)	1999 年に、鳥越晧之氏（社会科学系教授）と内山節氏（哲学者）にご講演いただいた「里山セミナー」の記録をまとめたものです。都市近郊の里山がかかえる「地価の高さ」や「農業衰退による里山管理者の不在」など現代的な課題を取り上げています。第一章．環境問題、農村や都市における所有権ほか。第二章．自治体と住民、里山における共有的世界ほか。
とべ！ドードー もり・けん著／すぎのこ文化振興財団 1997 年　32 頁　1,500 円　(G)	ひょんなことで過去の世界に迷い込んだケン太は、300 年前に絶滅した不思議な鳥ドードーに出会った。クジラにのった 2人が海の向こうに見たものは？オバケ杉の語る未来とは？ケン太とドードーの運命は？
トンボウォッチングガイド 喜多英人他著／むさしの里山研究会 2000 年　96 頁　1,000 円　(G)	トンボ観察のための入門書です。トンボの生態や写真の撮り方、観察地ガイド、トンボの見分け方などを分かりやすく解説しています。
なくすな干潟・取り戻そう宝の海 **干潟を守る日 2002 シンポジウム資料集** **諫早干潟緊急救済東京事務所他編**／ 諫早干潟緊急救済東京事務所 2002 年　62 頁　477 円	2002 年 4 月に東京と諫早でおこなったシンポジウムの資料集。宮入興一氏（愛知大学教授）による政治・経済の視点からの諫早湾干拓事業の分析「諫早湾干拓事業の破綻と今後の展望」、宇野木早苗氏（元東海大学教授）による有明海の潮流・潮汐に干拓事業が与えた影響の解説「諫早湾干拓事業は有明海の環境をいかに変えたか」などを掲載。参考資料として、農水省ノ第三者委員会の「開門調査に対する見解」なども収録している。
ナショナル・トラスト・ガイドブック **2001　全国各地の運動団体を紹介する** 日本ナショナル・トラスト協会編 2000 年　140 頁　1,000 円　(G)	都市化や開発の波による破壊が歴然となってしまった今、「未来の子供たち」のために必要なことは、環境と共に生きる知恵をとりもどすことです。ナショナル・トラスト運動団体は、‘今と未来をつなぐために’各地で活動を展開しています。本書では、これら団体の成り立ち、歴史的経緯、参加の仕方、団体の連絡先、保全地のデータ、地図などを美しいカラー写真と共に紹介し、さらに巻末には英国と日本の運動の概要を記載しています。
日韓共同干潟調査 2000 年度報告書 **国境を越えた干潟への想い** 日韓共同干潟調査団編 2001 年　204 頁　2,000 円	本書は、トヨタ財団 2000 年度市民社会プロジェクト助成「日韓の干潟保全に向けた共同予備調査」の年次報告です。2000 年度より始まった本活動は、この年に第 1 次（2000 年 5 月：韓国セマングム干拓予定地）、第 2 次（8 月：同セマングム地域）、第 3 次（11 月：九州・沖縄）、第 4 次（12 月：釜山）調査を行ないました。本書では、この間に実施された日韓の干潟を対象にした水鳥・底生生物・干潟文化の調査で得られた成果を報告しました。

日韓共同干潟調査 2001 年度報告書
国境を越えた干潟への想い

日韓共同干潟調査団編
2003 年（予定） 200 頁 2,000 円

本書は、トヨタ財団 2001 年度市民社会プロジェクト助成「日韓両国の干潟保全に向けた国際共同調査と市民交流」の年次報告です。本活動 2 年目の2001 年には、第 5 次（2001 年 5 月：韓国南海岸）、第 6 次（8 月：韓国釜山・木浦・セマングム干拓予定地）、第 7 次（11 月：九州・沖縄）調査を行ないました。本書では、この間に実施された日韓の干潟を対象にした水鳥・底生生物・干潟文化の調査で得られた成果を報告しました。

浜名湖周遊絵巻

サンクチュアリジャパン編・村松 昭作画／
サンクチュアリジャパン
2001 年 アコーディオン形式 3 m 1,300 円

大空を舞う鳥達が眺める風景を長さ 3m になる絵図という形で表現してみました。浜名湖周辺の豊かな自然や様々な生き物・伝承芸能、神社仏閣などがプロの絵図師によって余す所なく描かれています。随所にちりばめられた浜名湖のデータも魅力の一つです。旅の友や郷土資料としてなど様々な楽しみかたをしていただけます。表示に添っておりたたむことによって、実際の浜名湖と同じ形を表すことが出来ます。

改訂　兵庫の貴重な自然
兵庫県版レッドデータブック 2003

兵庫県県民生活部環境局編／ひょうご環境創造協会
2003 年 382 頁 3,000 円（税込み） 会員 2,500 円

前回の兵庫県版レッドデータブック発行から8 年…新たな情報の蓄積と生物分野の情報を拡充し、カラー写真も入った改訂版を発行いたしました。自然生態系や自然環境の保全に関する基礎資料としてご活用ください。

マンガ　おじいさんの森
ナショナル・トラストで残す里山

森真里著・日本ナショナル・トラスト協会編
2000 年 24 頁 220 円（G）

小学生にもナショナル・トラスト運動を理解してもらうために、わかりやすくマンガで解説しています。ストーリー：しんや君は小学校3年生。仲良くなった「おじいさんの森」を守るために、ナショナル・トラスト運動を始めます。さあ、「おじいさんの森」は残されるのでしょうか？

道と緑のキーワード事典

道路緑化保全協会編
2002 年 191 頁 3,500 円

ハードな人工構造物である道路を、ソフトな自然に、いかになじませるか。本書は、道路を自然に調和させるための既存の技術を、その到達点を明らかにするとともに今後の発展の礎とすべく、集大成した書。使い勝手に配慮し、キーワードをたてて解説している。全頁カラー。

屋久島の海辺生物ガイド

屋久島ガイド連絡協議会調査・編集
屋久島環境文化財団
2000 年 112 頁 屋久島ファンクラブ入会者に贈呈（年会費 2000 円）

屋久島の代表的な 4 ヵ所の海岸について海辺にすむ生き物を調査し掲載してあります。（B6 版）

屋久島の植物ガイド

屋久島環境文化財団編
1999 年 33 頁 屋久島ファンクラブ入会者に贈呈（年会費 2000 円）

屋久島の海岸や道路沿い、林道や登山道まで幅広く調査し、花や実のついた植物で、よく目にする植物を中心に掲載しています。（A4 版）

屋久島の野鳥ガイド

屋久島環境文化財団編
2001 年 88 頁 屋久島ファンクラブ入会者に贈呈（年会費 2000 円）

屋久島野鳥研究会の観察記録を基に、屋久島で確認された野鳥に関して記載してあります。（B6 版）

やくそく
もりからのおくりもの

高橋千津子著／すぎのこ文化振興財団
1998 年 32 頁 1,500 円（G）

地球環境を大切にする絵本。アヤは、うさぎのアンジェロと一緒に森へ行きました。森では鳥や山や動物たち、そして木や花の妖精たちが歓迎してくれます。森の仲間たちとの宴の時を破ったのは大きな地響き。誰かが森を壊そうとしているのです。その地響きの正体は…？心やさしいアヤとアンジェロが、みんなを森へ招待します。

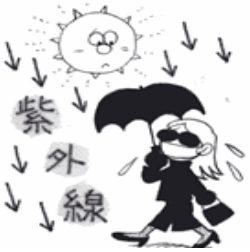
野生生物とともに　第 1 号
特集：ワシントン条約

野生生物保全論研究会（JWCS）編
2001 年 170 頁 1,500 円

1997年から2000年にかけて発行した野生生物保全論研究会会報の特集論説に加筆したものを中心に、JWCSの活動の基盤となった実践的理論研究や活動の成果を所収しています。第 1章 トラの保護とワシントン条約、第 2章 象牙取引とワシントン条約第 3章 「サステイナブル・ユース」を考える

山・海・野 **屋久島ガイド連絡協議会編／屋久島環境文化財団** 1996 年 47 頁 屋久島ファンクラブ入会者に贈呈（年会費 2000 円）	（財）自然環境研究センターが制作発行した屋久島のエコツーリズム・ガイドブックです。（A5 版）
豊かで美しい地域環境をつくる **地域環境工学概論** 地域環境工学概論編集委員会編著／農業土木学会 1995 年 2,750 円	農業土木学会が提案した将来ビジョン「豊かで美しい国土・農村空間の創出」の構想を受けて執筆されたものです。対象範囲を狭い農地、農村集落から地域全体へ、その対象を、土地、水、緑、大気、そして、そこに生きる動植物や人間、地域生態系全体へ広げ、豊かで美しい国土・農村空間を永続的に確保していくためには、どうしたらいいのかを、考えています。
よみがえれ生きものたち **空堀川の水生生物** 小林寛治著／空堀川に清流を取り戻す会 2001 年 95 頁 1,200 円	環境が破壊され、生きものが住めなくなった空堀川（東京都）にどうやって生きものがよみがえってくるのか。
流出油災害から何を学ぶか？ Vol.2 **日本環境災害情報センター(JEDIC)活動記録集** 日本環境災害情報センター（JEDIC）編 2003 年 97 頁 1,000 円	JEDIC 設立準備会から継続的に開催されている定例学習会講演内容（海事石油関係団体、学識者、市民団体、立法行政機関および海外事例）を中心にした、タイムリーな情報満載の記録集です。この活動記録集をお求めの方には、油汚染事故対策水鳥救護研修などの講演資料として使われております JEDIC 設立準備会記録集「流出油災害から何を学ぶか？」を送料をご負担いただくだけで無料配布いたします。
連続講座「棚田」第２期 講義録集 連続講座「棚田」実行委員会編／棚田ネットワーク 2001 年 241 頁 カンパ 500 円以上	2000 年 5 月から2001 年 3 月までの棚田講座の記録。棚田の入門書として最適。講演タイトル：棚田の歴史、山村の民家、日本民家、地元学による住民参加と棚田、小さな町の大きな誇り、棚田の生き物、棚田と森林、新農基法と棚田、東京からいちばん近い棚田の里として、棚田と水利・治水、棚田の 21 世紀、東南アジアと日本の棚田。

地球環境



2001 年、熱帯林の現状 インドネシア・マレーシアの事例 熱帯林行動ネットワーク（JATAN）編 2001 年 36 頁 500 円	熱帯林の最新状況をインドネシアとマレーシアについてまとめ、改めて国内における熱帯林消費に関する取り組みの必要性を訴えたものです。特に、インドネシアで急増している違法伐採の実態を、いくつかの国立公園の例を挙げて紹介しています。マレーシアの伐採状況、木材認証制度、プナン人の闘い、日本の熱帯木材貿易も取り上げています。
2010 年地球温暖化防止シナリオ 水谷洋一編、著／ 地球環境と大気汚染を考える全国市民会議（CASA） 2000 年 250 頁 1,900 円 (G)	「原発の大増設を行わなくとも、京都議定書に定められた温室効果ガスの削減目標を国内での二酸化炭素排出削減だけで達成できる。」原発の大増設、森林による二酸化炭素の吸収、排出量取引などを柱とする政府の地球温暖化対策に対して、代替案としての具体的政策提言。コンパクトで平易な記述とふんだんな図表・コラムの配置で、行政関係者や NGO 関係者、地球温暖化問題に関心を抱く幅広い市民・学生の方々にご活用いただけます。
IMF がやってきた 北沢洋子、朴根好、村井吉敬、井上礼子、ウォールデン・ベロー著／アジア太平洋資料センター（PARC） 1998 年 96 頁 1,998 円 (G)	アジアの経済危機はなぜ起こったのか。経済のグローバル化を推し進める国際機関、国際通貨基金（IMF）の背景と実態を解明し、人びとの立場から20世紀の「開発モデル」を問い直す。
Maayong Hapon フィリピンネグロス 日本ネグロス・キャンペーン委員会（JCNC）編 2002 年 28 頁 200 円 (G)	ネグロスだけではなくフィリピンの歴史・暮し、これまでの JCNC の活動に加えてそこから始まったバナナや黒砂糖の民衆交易、イロンゴ語ミニ会話集まで盛り沢山の内容。イラストや写真を豊富に入れ、日本の高校生と現地 NGO スタッフとの対話形式で解説しているため、中高生にもお奨め。
NIKE:Just DON'T do it 朴根好、金子文夫、佐伯奈津子他著／ アジア太平洋資料センター（PARC） 1998 年 88 頁 1,000 円 (G)	NIKE ブランドを作っているのは、アジア各地の工場で過酷な低賃金・長時間労働を強いる搾取工場であるとの批判を浴び、欧米での不買運動、抗議の声が後をたたない。しかし、日本ではスポーツシューズがどこで、どんな風に作られているかについては、ほとんど関心をもたれなかった。本書では、NIKE の経営戦略、韓国企業が NIKE の下請け工場としてインドネシアやベトナムで労働実態について詳しくレポートしている。
UNEP 地球環境概況 3（GEO-3） 日本語概要版 国連環境計画（UNEP）編、環境省地球環境局・地球環境センター共訳／地球環境センター（GEC） 2002 年 16 頁 無料（送料のみ）(G)	2002 年国連環境計画（UNEP）発行の「地球環境概況 3（GEO-3）」は、過去 30 年間の地球環境問題の状況、原因、環境政策の進展などについて解説しており、今後 30 年間の将来の展望についても、4つのシナリオを用いて解析している。本書はその日本語概要版である。ご希望の方は、住所・氏名・電話番号・タイトル（GEO-3）を明記、160 円切手を同封の上、GEC 情報課宛に郵送にてお申し込みください。
アジア女性研究　第 1 号～第 12 号 アジア女性交流・研究フォーラム編 1992 年～2003 年 130 頁前後 各 1,000 円（創刊号品切）	公募による自由投稿論文集で、年 1回の刊行です。アジア女性学の動向、アジア女性事情など、幅広くアジアの今が分かります。開発とジェンダーを切り口に調査報告や批判的視点での理論構築を目指しています。最新号の第 12 号は「持続可能な開発　ジェンダーの視点から」と題し、「インドにおける有機農業運動と女性　ナヴダーニャ運動を事例に」、「中国の環境団体の台頭および女性参加の現状」などの論文が掲載されています。
アマゾン、インディオからの伝言 南　研子著／熱帯森林保護団体 2000 年 235 頁 1,700 円 (G)	減少を続ける熱帯雨林。その森を守る先住民達。インディオ保護区に生きる貨幣経済も文字も無い人びととの、11 年間に渡る交流を初めて綴った書。これは、現代人の心を癒し、文明そのものを見直す精霊達のドラマである。
エクアドル環境読本 エクアドル環境読本 ナマケモノ倶楽部編	ナマケモノ倶楽部が活動している地域を中心に、地元住民の持続可能なライフスタイルへの取組みをレポート。後半は、英語版・スペイン語版になっている。オススメ！

2002 年　108 頁　400 円　(G)	
エコライフデー報告書　チェックシート付 **　地球環境を考えた１日を市民が過ごし、みんなで二酸化炭素を減らしました** 川口市民環境会議編 2002 年　24 頁　300 円	一日版環境家計簿（エコライフチェックシート）を手に、約 1万人の皆さんが、環境に配慮した一日を過ごし、地球温暖化の原因の一つである二酸化炭素の削減にチャレンジした「エコライフデー」の報告書です。（「エコライフデー」は、平成 14 年度の「環境白書」でも、ユニークな取り組みとして紹介されました。）
オゾン層ってなんだろう？ **　守ろう！地球の宇宙服** ストップ・フロン全国連絡会編 2001 年　48 頁　500 円　(G)	フロンによるオゾン層破壊や、それによって起きる有害紫外線の増加やその影響について、子供たちのためにイラストをふんだんに使ってわかりやすく解説した書籍です。内容が充実しているため、大人にも好評です。
カイエオイコス 97/98 **　建築の熱環境を考える** オイコスフォーラム編 1998 年　161 頁　1,500 円　(G)	連続セミナー『自然共生建築を求めて- 建築の熱環境を考える-』（1997 年 10 月～1998 年 12 月、講師宿谷昌則/武蔵野工業大学、全 14 回）のレポートなどを掲載したオイコスフォーラムのニュースレター「カイエオイコス」第 8 号-第 23 号＋号外 1 号と、セミナーの参考資料をまとめた本です。
カイエオイコス 99/00 **　建築に自然光を取り入れる** オイコスフォーラム編 2000 年　151 頁　1,500 円　(G)	連続セミナー「建築の光環境を考える- 自然光利用をすすめる-』（1999 年 3 月-2000 年 2 月　全 12 回）のレポートなどを掲載したオイコスフォーラムのニュースレター「カイエオイコス」第 24 号-36 号と、セミナーの参考資料をまとめた本です。セミナーのテーマ；「光環境の考え方」「光環境設計とエクセルギー消費」「自然光利用と日射の関係」「窓の歴史とさまざまな役割」「照明の環境心理学」など。
開発と女性の役割 グローバリゼーション・ジェンダー・労働 **　国連世界調査報告　1999** 国連経済社会局編／日本ネグロス・キャンペーン委員会（JCNC）　2001 年　106 頁　500 円　(G)	国連経済社会局が 5年に一度発表する最も重要な調査報告書。国連・女性の地位向上部ジェンダー分析課のドロータ・ギエルツ氏（当時）を中心に作成された。国連の公用語以外初の翻訳。グローバル化の現状とその女性の労働と生活への影響を信頼できる統計と最新の研究に基づいて分析し、開発や経済政策にジェンダーの視点を取り入れることがより生産的だと結ぶ。開発、ジェンダー、国際関係に関心のある人全てにとって必見の書。
開発は人びとの手で 北沢洋子著／アジア太平洋資料センター（PARC） 1998 年　56 頁　500 円　(G)	いま、アジアの農村で求められているのは、トップダウンの援助ではなく、住民主体の持続可能な地域開発の計画である。フィリピンで、農村再建運動にかけるNGO の挑戦を追う。（ビデオも別売りしております）
紙と森林伐採に関する基礎知識 熱帯林行動ネットワーク（JATAN）編 2002 年　10 頁　100 円　(G)	紙は何から作られているのか、紙と森林破壊は関係あるのか、紙はどれくらい消費されているのか、私たちに出来ることとは何か等、紙と森林伐採に関する基礎知識をQ&A形式を中心にまとめました。紙に関するデータも図表を用いてわかりやすく紹介しています。
環境と文明の明日 **　有限な地球で生きる** 加藤三郎著／環境文明 21 1996 年　193 頁　2,000 円	地球環境の危機は、ついに人間が地球環境の限界を突き破ってしまったことを物語っている。限りある地球のなかで、これまでの成長路線を追い続けることはもはや不可能だ。私たちは、これまでの拡大志向を根底から見直し、一刻も早く新しい一歩を踏み出すべきだ。本書は、現在は NPO 活動を展開している著者からあなたへの渾身のメッセージである。
環境の世紀 **　政財界リーダー22 人が語る** 加藤三郎著／環境文明 21 2001 年　286 頁　1,700 円　(G)	産業構造まで変革する新社会の到来に、政・財はどう立ち向かうのか。日本を牽引する22 氏の肉声を記録した、21 世紀への提言の書。

木持ちの問題 **日本人の木材消費とライフスタイル** A SEED JAPAN 森林チーム編／A SEED JAPAN 2002 年 180 頁 1,000 円 (G)	「森なんて消えてなくなってしまえ！」と思っている人はそうはいないんじゃないかと思う。でも確実に森林は消えてなくなりつつある。たとえあなたが木を切らなくても、日本人の紙の消費量は世界平均の5倍を超え、必然的に世界中の木を切っていることになっている。そんな僕たちのライフスタイルを変え、森林と共生する世紀にしていこう！森林問題の全体像を掴み、どうすれば森を壊さない生活ができるかを具体的に伝える本です。
クリーンアップキャンペーン2002 レポート Japan Environmental Action Network・クリーンアップ全国事務局編／JEAN（クリーンアップ全国事務局） 2003 年 93 頁 1,000 円	クリーンアップ全国事務局（JEAN = Japan Environmental Action Network の略）が全国で行なっているクリーンアップキャンペーン 2002 年のレポートです。
持続可能な社会と地球環境のための研究助成 2001 年度 成果報告論文集 消費生活研究所編 2002 年 114 頁 1,000 円 (G)	生活協同組合コープとうきょうの協力により1997年から実施している、主に若手研究者や NPO の研究活動を対象とした助成事業において、2001年度事業の対象となった研究者・グループにより、研究成果報告としてまとめられた論文集。研究テーマは、化学物質管理、景観から、都市政策に関わるものまで幅広い。
市民が作るみやぎ環境白書 2001 年度 **みやぎで取り組む地球温暖化対策** ストップ温暖化センターみやぎ、みやぎ・環境とくらし・ネットワーク編／みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON) 2002 年 100 頁 1,000 円 (G)	家庭における省エネの事例など宮城県における地球温暖化対策の実践活動の紹介をしています。
自由貿易はなぜ間違っているのか **市民にとっての WTO** 井上礼子、北沢洋子、稲場雅紀、佐久間智子他著／アジア太平洋資料センター（PARC） 2003 年 108 頁 1,000 円	「WTO（世界貿易機関）」とは何でしょうか？ 農産物の関税やサービス貿易、知的所有権と、一見私たちとは何の関係もないようですが、輸入品や国際取引、国際通信が当たり前になった今、私たちの暮らしとWTOは密接にかかわっています。世界の貿易のしくみと、私たちの暮らしへの影響、そしてアメリカや日本をはじめとする「北」の国と途上国との関係について、わかりにくい WTO と世界経済の問題を、市民の立場から考えます。
「循環社会」創造の条件 **日本が生き残るための 14 章** 加藤三郎著／環境文明 21 1998 年 261 頁 1,800 円 (G)	本書は、循環社会、つまり有限な地球環境の中でワンウェイの成長を追及しつづける永続不能な社会ではなく、より安定し、環境負荷の少ない循環を基調とし人間が人間らしく生きることができる社会への条件ないしは処方箋を提供するものである。
新ケナフの話 非木材紙普及協会 編集委員会編／非木材紙普及協会 2002 年 96 頁 1,200 円	これを読めばケナフが環境と資源にどのように役立っているかがわかります。
新地球村宣言 世界再生への道 高木善之著／ネットワーク『地球村』 2001 年 277 頁 1,600 円	環境の基本的な知識と現状を分かりやすく解説し、未来のビジョン、未来の社会の具体的な姿を分かりやすくまとめ、実現のステップや、世界を変える「地球市民国連」構想も述べています。
大気寛容なれども **環境変化の理解に向けて** リチャード・C・J・サマービル著、齋藤行正、中本正一朗共訳／地球環境センター（GEC） 2001 年 326 頁 無料（送料のみ）	原題は“The Forgiving Air（寛容なる大気）”といい、地球環境問題（オゾン、温暖化等）について、なぜこうした問題が発生したか、それに対してどのような対策が取られてきたか、また、今後どのような対策が必要であるかについて、学生や初心者向けに理解しやすく解説している。ご希望の方は、住所・氏名・電話番号・タイトルを明記、310円切手を同封の上、GEC 情報課宛に郵送にてお申し込みください。
誰でもわかる電磁波問題 大久保貞利著／電磁波問題市民研究会 2002 年 238 頁 1,900 円	「21 世紀の公害問題」といわれる電磁波問題。送電線、変電所、配電線、電気器具、パソコン、ケータイ、PHS、基地局などから出る電磁波は目に見えないが人体に影響あり、といわれます。本書は電磁波問題の ABC から各地の住民運動、その他、この一冊で誰でもわかるように、わかりやすく解説している。国民必携の本。

地球温暖化と都市生活～都民のくらし・経済と地球環境の両立は可能か？2002 年度コープ環境講座 環境再生のための 21 世紀シリーズⅡ 消費生活研究所編 2003 年 117 頁 500 円	持続可能な社会へ向けての、これからの都市生活・経済のあるべき姿とは？先進的な事例を取り入れながら学び、考えた連続講座の報告集です。『持続可能な経済転換のための13の基本課題、基礎の環境経済学、環境政策と市民参画、大人のための環境教育、特別講演&シンポジウム）
地球村ブックレット **美しい地球を子どもたちに** ネットワーク『地球村』事務局編／ネットワーク『地球村』 2003 年 60 頁 800 円 (G)	『地球村』の講演テーマの内容を最もコンパクトにまとめた資料集です。テーマごとに、図表をたくさん盛り込んで大変わかりやすくなっています。自分で勉強される時、お友達に伝える時に役に立ちますよ。
ドイツの市民に学ぶ環境のまちづくり **フライブルクツアー報告書** 国際環境 NGO FoE JAPAN 編 2002 年 48 頁 800 円	環境先進国と言われるドイツのまちを実際に見てみたい、その政策を推し進めてきた市民の生の声を聞いてみたい、という思いを持って実施した「ドイツ環境首都フライブルクツアー」。訪問先で得た情報などを詳細にまとめた報告書ができました。市民主導のドイツでの環境政策の事例は、日本各地で『市民から』『地域から』持続可能な社会の実現に向けて行動している人々に大きな力を与えてくれます。
途上国支援と環境ガイドライン 国際環境 NGO FoEJapan 編 2002 年 213 頁 2,800 円 (G)	ケニアのソンドゥ・ミリウ水力発電事業など、途上国を支援する ODA などによる開発プロジェクトが様々なかたちで深刻な環境問題、社会問題を現地で引き起こしている。NGO として政府系金融機関の国際協力銀行（JBIC）が融資する開発プロジェクトが及ぼす問題に取り組んできた若い研究者たちがこうした問題の再発防止と改善のための環境ガイドラインを提言した書。
非木材紙関連用語の知識 非木材紙普及協会 編集委員会編／ 非木材紙普及協会 1997 年 221 頁 2,500 円	この1冊で非木材紙のことがわかる。43名の執筆協力者による、約1800語を収録。
ひろげよう、グリーン購入。 グリーン購入ネットワーク（GPN）編 2002 年 24 頁 100 円 (G)	主に組織向けに作成したパンフレットです。グリーン購入の基本となる考え方をまとめた『グリーン購入基本原則』をベースとしています。
みやぎエコライフヒント集 ストップ温暖化センターみやぎ、みやぎ・環境とくらし・ネットワーク編／みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON) 2000 年 28 頁 300 円	環境問題について、どんな問題が起こっているのか、解決のために何をしたらいいのかについて考える情報を提供しています。宮城県の情報が多く掲載されています。
みんなの環 3 環境問題について考える～福岡からのメッセージ もしもし地球編 2003 年 32 頁 300 円	大学生実行委員を中心に企画、編集、制作。単に情報を提供するだけでなく、意見を発信する事を目的に発行。幅広い世代のたくさんの市民の意見集。
もしもし地球 １号～２３号 **地球と話そう** もしもし地球編 1993 年～ 不定期、年 2～3 回） 28 頁 1～20 号 250 円 21～23 号 500 円	小、中学生を対象とし、様々な地球環境問題に対する最新の正確な情報の伝達と、それに関連した身近な暮らしの中での問題を、子どもの視点で共に考えることを目的に発行しています。各号でテーマを設定しています。
やってみよう！グリーン購入 グリーン購入ネットワーク（GPN）編 2000 年 16 頁 50 円 (G)	小学生向けのワークブックです。『環境学習」や 総合的な学習の時間」授業の教材等にご活用いただけます。

わた・わた・コットン　NO.1～NO.4 **ワタをめぐる情報と人と暮らしの交流誌** 鴨川和棉農園編 2000 年　70 頁　700 円　(G)	日本のワタの栽培法 ･糸紡ぎからハタ織りまでの諸々 の技術 ･道具の使い方、簡単手作 りの服づくり学校でのワタの授業の報告、自給自足の農的暮らしの情報など種々な話題もりだくさんの冊子です。
わわたネット 21 **和棉のタネを守るネットワーク交流誌** 和棉のタネを守るネットワーク事務局編／鴨川和棉農園 2003 年　74 頁　1,000 円	かつて、日本の各地の気候 ･風土に適した 200 種以上の日本綿の地方品種がありました。現存する 30 数種の種を沖縄から北海道までの栽培ネットワーカーが栽培し種を増やしています。この取組みをまとめた交流誌です。